



明訓同窓

発行所

新潟市江南区北山1037番地

新潟明訓高等学校同窓会

会長 渡辺 惇 夫

綱 領

- 一 母校愛精神の昂揚
- 二 伝統保持と敬愛
- 三 会員の連繋と相互扶助

ご挨拶

— 母校の大活躍に

敬意と感謝 —



同窓会長

渡 辺 惇 夫

日増しに秋も深まり朝夕には寒さを感じる頃となり、今年も毎年恒例の同窓会総会開催の日を迎えることとなりました。

同窓会員の皆様には日々益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

常日頃は当同窓会の諸活動並びに母校の発展向上のために温かいご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し

上げます。

お陰様で我が同窓会も多数の会員を擁し、年々活動実績を積み上げ、その存在感を増しつつあり、母校の発展とともに内外に高い評価をいただいております。すことは我々の大きな喜びであり、誇りでもあります。

このことは偏に会員皆様の変わらぬ母校愛と、日頃のご協力の賜物であると共に、加えて学校ご当局の弛まぬ

ご努力と関係者の皆様のご支援とご協力の賜物であり、ここに改めて深く敬意を表し感謝の意を表する次第であります。

今後も我々は先輩各位の築いた輝かしい実績と母校の建学の精神を大切に継承しながら母校の卒業生としての誇りを持ち、同窓会と母校の発展のため努力していかねければなりません。

さて、ご承知のように我が母校は大正10年の創立以来、実に90有余年の歴史を有し、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねて参りました。そして近年では今後の新しい時代に対応し、更なる発展を期すために創設された新潟明訓中学校も9年目を迎え、中高6年間の一貫教育も着実に実績をあげ、難関大学

への合格に挑戦し、着実に実績を挙げております。また、部活動に於きましても運動部、文化部共に各種大会等で大活躍をしており、中でもダンス部の活躍は目覚ましいものがあります。

母校ダンス部は、去る6月に新潟県民会館で行われた第68回新潟県高等学校総合体育大会兼第28回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)予選会ダンスコンクール及び発表会の「創作ダンスコンクール部門」に於いて「最優秀賞」を獲得、新潟県の代表として去る8月に神戸文化ホールで行われた全国大会に出場。大舞台でノビノビとした堂々たる演技を披露し、高校の部で、全国一位に該当する「文部科学大臣賞」を受賞し、全国

に新潟明訓高等学校の秀でた才能を示してくれました。

このダンス部の功績は、我々同窓生にも大きな勇気と自信と感動、そして誇りを与えてくれましたことに心から感謝しております。

今、我が同窓会としても、これらの母校の大活躍に相応しい体質の強化と組織の拡充発展が求められており、それにむけて努力しておるところであります。

幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材が広く各界各層に於いて指導的

立場で活躍しておられます。この多くの皆様から母校の現状を知つ

いた多くとともに、大きな関心を持っていただき、互いに同志的意識を更に高め、協力体制を確立することにより同窓会の活性化と発展に繋げていかなくはなりません。

今後共、同窓会員の皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。

最後に母校のますますの発展と、同窓会の皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

日本語による科学



理事長

伴 昭 彦

同窓会員の皆様には御元気で御活躍のこととお喜び申し上げます。

今、世界の科学は多くは英語で考えられ英語で表現されているよう

です。英語と言つても、それぞれのお国なまりがあつて必ずしもわかり易いものではありません。ノーベル物理学賞を受賞された朝永振一郎博士は「科学者の共通語は、ブローケン・イングリッシュです」と言われたそうです。プリンストン高等研究所のオッペンハイマー元所長が同じことを言われたそうです(矢野健太郎、数学プロムナード、学生社)。

そのために日本人が頭の中では日本語で考えながら英語の論文を書いているのです。幕末から明治の始め頃に日本へ入つて来た西欧近代文明を日本語に移しかえる努力をした人々がいました。その中でも代表的な人物は、西(にし)周(あまね)であつたと考えられています。法律用語にしても日本人がよくわかるような言葉にしない限り近代法治国家を作

ることはできない。外国との交渉でも国際的ルールを直観的に理解できるように外交用語

「物性研究所」があり日本の物理学には「物性論」というジャンルがあるのに、理化学辞典(岩波書店)には「外国語にはこれに当る適切な言葉はない」というのです。広い意味での物性物理学において、細野秀雄東工大教授の鉄系超伝導物質の発見、ノーベル賞受賞の中村修二カリフォルニア大学教授の青色発光ダイオードの発

明訓生の学ぶ目的と目標



学校長

大滝祐幸

陸上、剣道、ハンドボール、サッカー、ダンス、弓道と、今夏も多くの運動部が近畿地方各地で行われた大会に出場しました。そして、ダンス部が全国一位に該当する文部科学大臣賞を受賞しました。すばらしい演技は、見る人に感動を起こし、涙を流す人も多くいました。私も恥ずかしながら、何度見ても感動で涙ぐみました。

また、文化部も、囲碁、将棋、写真、生物、文芸、放送と滋賀県内で行われた高文祭に出場しました。また、吹奏楽も県大会を勝ち抜き、九月に行われた西関東大会に出場することができました。

な飛躍を信じさせてくれるものでありました。なぜ、明訓生はこんなに頑張っているのでしょうか。私は、彼らが、自分の生きる目的・目標を手に入れているからだと思つていきます。高校生にもなると、若者はいつても、「何のために」を求めるようになります。私は、その「何のために」について、短期的なものを「目的」、短期的なものを「目標」と位置付けています。高い志のある学ぶ目的を手に入れた若者は、それを達成するための具体的な目標を掲げ努力するようになります。東大も甲子園も、目標の一つです。私は、人生を通じて実現しようとする自分の生きる目的をしつかり考え、それを達成するための目標に向かって努力する生徒を育てる明訓でありたいと考えています。

平成27年関西新潟明訓会 総会・懇親会を開催



関西新潟明訓会の皆様

関西新潟明訓会平成27年度総会が10月3日(土)午後12時30分より大阪市都島区網島町の「太閤園」で開催されました。

同窓会本部からは大倉副会長、首都圏からは秋葉会長が出席。学校からは関西明訓会初

参加となった太田副校長がご出席され、総勢16名での開催となりました。太田副校長からは中・高の近況についてお話しをいただきました。懇親会でも母校の近況を編集したDVDの上映を行いました。毎年恒例の新潟の銘酒「越

乃寒梅」が振舞われ、参加者相互の交流を深め楽しいひと時を過ごし、締めには校歌を声高らかに斉唱して次の回の再会を約束し閉会となりました。

今年の参加者は16名と例年になく少ない参加数に留まりました。会が発足して24年が経過して、発足当時のメンバーも高年齢化しており、ここ近年は参加者の顔ぶれも固定化されつつある中で体調不良での欠席や転勤で関西圏を離れる方々もおられ、参加者数が伸びない状況です。

来年、25周年を迎えるにあたり、関西圏の大学に進学して来ている同窓生にも案内をしてみてはどうか?という意見も出ています。いづれにしても今までとは違った角度からのアプローチが必要な事は間違いないところです。

関西圏にお住いの同窓生の皆様、是非一度、関西新潟明訓会にご参加下さい。お待ちしております。

連絡先:(幹事)阿部邦義
〇九〇一五九〇二二九九三

第27回首都圏新潟明訓会総会・ 懇親パーティー開催



首都圏新潟明訓会の皆様

「平成26年度第27回首都圏新潟明訓会総会・懇親パーティー」が平成26年10月25日(土)午前11時から、ロイヤルパークホテル20階「パラッツォ」で開催されました。

同窓会本部からは高橋・渡邊(淳)両副会

長、関西新潟明訓会からは本間会長が出席。学校からは旭・善仁教頭が来賓として出席され、総勢60名ほどの開催となりました。

星野陽一(S51年卒)・古金莊一(S51年卒)両幹事の司会で総会が始まり、秋葉正樹会長(46年卒)挨拶の後、役員改選が行われ、初参加者の方々の自己紹介、小林史郎副会長(S46年卒)の指揮による校歌斉唱と続き、村上哲昭副会長(S46年卒)の閉会挨拶のあとお開きとなりました。

二次会会場は、首都圏役員会の「憩いの場」『うまいものやたろう』へ。30名以上の参加で、ギョウギユウ詰めの店内で更なる親交を深めました。

後輩達の活躍ぶりや進路指導・進学状況等をDVDで紹介していただきました。

懇親会は、前首都圏新潟明訓会会長 後藤強さん(S29年卒)の音頭で乾杯、歓談へと進行しました。

本部から持参の新潟の銘酒「越乃寒梅」も振舞われ、恒例の熊倉由美さん(S56年卒)によるジャズタイムも素敵なひと時でした。会場では、卒業年度の違いを超えて再会を喜ぶ話の華が咲いていました。

会場が盛り上がったころ、恒例の景品の福引きが行われ、続いて初参加者の方々の自己紹介、小林史郎副会長(S46年卒)の指揮による校歌斉唱と続き、村上哲昭副会長(S46年卒)の閉会挨拶のあとお開きとなりました。

二次会会場は、首都圏役員会の「憩いの場」『うまいものやたろう』へ。30名以上の参加で、ギョウギユウ詰めの店内で更なる親交を深めました。

新潟明訓高等学校

昭和四十八年度卒業生

第二回 同期会開催

一昨年の七月に昭和四十八年卒の第一回同期会を開催してから二年が経過した昨年の九月二十日に新潟グランドホテルに於いて第二回同期会を開催しましたのでご報告させていただきます。

第一回の開催においては、五十八歳という年齢はまだまだ現役であり出席したくとも忙しかったり、転勤先が遠かったり、海外赴任などで、物理的に出席できない方々が数多くおり約40名の出席者でしたが、還暦を迎えた昨年は殆どの方が定年を迎え、或は迎えつつあり、長い仕事人生に終止符を打つ、言い換えれば時間に余裕が持てるようになり、よし!!これからはしっかりと出席するか、そんな意気込みで来てくれるようになったのではなかと思いい約100名近い参加で執り行うことができました。その時の様子は、卒業以来の

再会で懐かしく直ぐに当時の思い出話に話が弾んでいる方達や、時間の経過とともに容姿が変わり当時を思い出すのに時間を要している方も居りましたが、次第に記憶を少しずつ紐解き、皆が当時の明訓生に戻り会話が弾んでいきました。

又、今回は御来賓として5組担任の田辺基先生と9組担任の佐藤正吾先生にもご臨席頂き当時の思い出を語っていただき更に楽しい同期会の場になったように思います。

近年、同窓会代行業というビジネスが生まれており、会の名簿作成から会場の予約、案内状の発送、当日の宴会運営まで全てお任せという幹事にとっては便利なビジネスですが、クラス会・同期会や同窓会を運営していく過程において様々な先輩、後輩、同期生との交流による繋がりが楽しく絶対に同窓会代

行業にはお願ひできないと思ひます。高校の三年間一度も話をしないなんて近年、同窓会の運営に携わるうちに次第に友達の輪が広がっていき高校時代からずっと友達だったと感じるほどです。

いきましたが還暦を迎えてからは仕事の話は殆ど無し。家族の話や孫のこと、そして病気のことや老後の事などが主な話題で、「やつぱり健康が一番大切だよね。」と、以前には何も感じなかった話題に花が咲くのです。ピカピカの一年生のよう

対する不安と期待が入り混じったような、そんな気持ち、正直にぶつけ合っています。最後に先輩に教えて頂いた話をご紹介します。

「今日行く」ところがあり、「今日、用」があることだそうです。皆さんのスケジュール表には予定が沢山、書かれていますか?是非とも皆さんのスケジュール表に「クラス会」「同期会」「同窓会」の予定を入れて皆で参加していきましよう。(若井記)



2014年 新潟明訓高等学校48年度卒業同期会 2014.9.20 新潟グランドホテル

明訓高等学校より報告 グローバル教育をめざして

第3回

「エンパワーメントプログラム」の実施報告

グローバル教育係

柴岡友洋

平成27年7月27日、31日の5日間にわたって、第3回「エンパワーメントプログラム」が実施されました。今年度は高校1年生120名、2年生11名と外国人学生26名で合計157名が参加しました。グローバル教育の一環として、今回は中高一貫の高校1年生が全員参加となったため、これまで最も多くの参加者数となりました。

生徒5名ほどが1グループとなり、そこに外国人学生1名が加わってグループ単位の活動が中心でした。外国人学生は、ハーバード大学やカリフォルニア大学バークレー校の学生、さらには東京大学など国内の大学・大学院に留学している外国人学生など大変優秀で学ぶ意欲の高い学生たちで、生徒は多くの刺激を受けていました。生徒にとっては最初なかなか聞き取れなかった英語でも基本的に



エンパワーメントプログラム参加の留学生の皆さんと

は英語漬けの5日間なので最後にはかなり聴き取れるようになったようです。ただ、このプログラムは英語を話せるようになることが一番の目的ではありません。コミュニケーションである英語

を用いて、グローバルな視点で物事を考えることや人によってさまざまな考え方やとらえ方があることを知ること、自分の考えを発信することなどに重きが置かれています。生徒たちは外国人学生と

もにファシリテーターの先生の指導のもと、「アイデンティティー」や「リーダーシップ」や「ポジティブシンキング」、「日本の高齢化社会」等のテーマについてディスカッションをしたりプレゼンテーシ

ョンをしたりしました。初めてのうちは留学生の話や聞き取りが難しく、話を聞きながら姿が多く見られましたが、日を追うごとに積極的に質問したり、自分の考えを表現したりするようになっていきました。最終日には、生徒一人ひとりが自分の将来の夢についてのプレゼンテーションをしました。5日間のプログラムで得た力を十分に発揮した素晴らしいものでした。外国人生やファシリテーターの先生からコメントをもらっていました。

このプログラムを終えた生徒からの感想として、自分の英語が通じることの楽しさというものが多くですが、他にも「文化や考え方が違うので、新しいことを知ることができた」「考え方の違いが大きな視野を持つきっかけになった」「間違えることを恐れてはいけないうちで、英語を使う職業に興味をもった」「留学生の積極的な姿勢が勉強になった」などがありました。このプログラムを通じて生徒の視野が広がったり、学びの意欲向上がはかられたりしていることがうかがえます。

また、プログラムへの参加だけでなく、外国人学生のホームステイを受け入れてくださった家庭があります。ホストファミリーを引き受けてくださったご家庭からは、「考え方の価値観の違い、視野が広がりました」「留学生と子供が自然と打ち解け、会話している様子を見ることができた」「家族みんなにとって、思い出に残る貴重な体験となりました」といったお声をいただきました。来年もより多くのご家庭にホストファミリーを経験していただきたいと感じました。

「エンパワーメントプログラム」は明訓高校のグローバル教育の大きな柱の一つです。より多くの生徒がこの



ハーバード大学にて

アメリカ研修の報告

担当 椿 健輔

3月7日～11日の5日間、第3回アメリカ研修を実施しました。研修の目的は、以下のようによに要約されます。まず、世界的な視野で物事をとらえることで

将来の進路選択の幅を広げ、学ぶ意欲を高めること。次に、世界各国の同世代の若者とともに学ぶ中で、世界のさまざまな文化・習慣を理解するとともに、日本の文化・習慣への理解を深めること。最後に、将来のリーダーを目指すという共通の目的を持つて行動する中で、主体的に考え、仲間と協力する力を高めること。以上3点です。

研修の前は、アメリカ合衆国の揺籃の地ともいえる歴史都市ボストンに滞在し、語

学研修に取り組みました。加えて、男子はインターナショナルゲストハウスに、女子は各ホームステイ先に宿泊し、現地の人々や世界のさまざまな国から集まった研修生たちと英語を用いて交流を深めました。さらにマサチューセッツ工科大学やハーバード大学を訪問し、両校に在籍する日本人学生の方々と身体験談を聞かせていただきました。また、現地の高校を訪問する機会にも恵まれ、実際に授業にも参加させていただきました。このボストン滞在を通して、生徒たちは今までの生活圏がいかに狭いものであったかを痛感し、可能性と多様性に満ちた世界へ目を向けるようになりました。



田植え (5月18日)



稲刈り (9月24日)



立志式



きれいになった明訓校の碑

本年も高橋(昭40年卒)・渡邊(淳)(昭49年卒)・大倉(昭53年卒)の副会長3名と同窓生関口明子さん(昭56年卒)の計4名で行って参りました。一年間でだいぶ草も繁茂し、2時間弱の掃除で終わりました。中学一年生の皆様にはよい立志式が行っていただけたのではないかと思います。



掃除にはげむ

明訓中学校より報告

田植えと稲刈り実施

昨年度から中学校の方では、田植えと稲刈りが行われております。

本年度は5月18日に田植え、9月24日に稲刈りが行われました。

業人の視点からの貴重なアドバイスをいただきました。さらに特別研修として、タイムズスクエアから滞在先のホテルまで、地図を頼りにニューヨーク市街を歩く試みも実施し、生徒たち自身の力でこれを成功させることができました。

今回のアメリカ研修を通して、生徒たちの視野は確実に広がりました。世界には自分と異なる行動規範に従って生きる人たちが大勢いることを知り、その人たちと積極的に交流することの意味を知り、仲間同士でも協力し合うことの意味を知

ることができました。生徒たちには、この研修を糧として、将来の進路選択の幅を広げてほしいと思います。そして、自分や家族のことを考えるだけでなく、地域や国や世界のことまで考える大人に成長してほしいと期待しています。

中学1年生は明訓中に入学して初めての田植えと稲刈りを楽しんでいました。中学2、3年生は慣れた手つきで作業をこなし、スムーズに進めることができました。

平成27年度中学校トレッキング

中学一年生

『立志式・弥彦山登山』に向けて

本年10月16日(金)に中学校はグローバル教育の一環として「新潟県を探索する、明訓の歴史を探索」ことを目標とし、第一学年は弥彦明訓校の碑において立志式を行い、弥彦山登山を実行しています。二年生は川岸町跡地から現在の校舎へ道のりをたどりま。三学年は大倉山登山を実施し、山頂から新潟平野を望み、明訓の新潟での位置を確認します。

立志式

学 校 高 案 内

過去5年間の合格者推移

国公立大学	2011		2012		2013		2014		2015	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
北海道	2	1	6		1		3	2	3	
東北	3	1	2		3		13		2	
山形	7		7	1	4		4	1	2	1
福島	4		2		1		1		4	
筑波	4		3		4		4	2	4	1
埼玉	2		2		2	1	7	1	2	
千葉	1				5		4		1	
お茶の水					1				1	
電気通信	1				1				1	1
東京					3		1		2	1
東京学芸	1		3		4				3	
東京工業		1			2				1	
一橋							2			
横浜国立			1		1		1	1	2	
新潟	36	12	67	6	51	8	54	7	58	5
長岡技術科学	3		2		1		1		1	
上越教育	3	1	2		3	2	1	1		
富山	2		3	1	1		2		2	
金沢	1		2	2	1	1	3		4	
信州	2		3		1		3		2	1
名古屋					1				1	
京都		1			1		1		1	
大阪					1		2			
高崎経済	10		5	3		1	7		8	
首都大東京		1	2	1	3		2	2	1	1
横浜市立					3				1	
新潟県立	15	2	21	4	21	3	36	2	21	1
新潟県立看護	4		5		4	1	2	2	3	
都留文科	1				1		2			
その他	19	5	17	4	17	4	36	6	17	5
小計	121	25	155	22	142	21	192	27	148	17
国公立合計	146		177		163		219		165	

私立大学	2011		2012		2013		2014		2015	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
自治医科					2					
早稲田	8	6	1	3	13	2	9	2	8	3
慶応	4	3			2		9		2	
上智	1				3		3	3		
東京理科	3	3	4	4	3	1	12	1	6	3
明治	13	3	8	1	16	4	23	2	11	4
立教	15	7	7	2	14	1	8	5	4	
青山学院	9	4	7		5	1	11	1	6	
中央	17	2	18	2	12	5	24	6	17	7
法政	10	5	9	3	11	7	28	9	17	8
学習院	2	3	1		4	1	1		4	1
東京農業	5	2	1	2	3	1	5	1	5	5
津田塾					2					
北里	4	1	4	2	4	1	4	1	1	2
芝浦工業	3	1	3	3	3		9	5	5	
成蹊	4	4	2		2	1	5	3	4	1
成城	2	1		2	4		2	1	4	1
日本	28	4	45	2	35	5	33	14	40	9
東洋	18	5	14	5	18	1	19	3	21	3
駒沢	10	7	20	4	20	3	16	4	22	3
専修	11	3	16	4	18	1	24	5	12	9
明治学院	7	3	6	2	11	2	6	5	11	3
獨協	6	2			9	7	4	2	10	1
神奈川	9	4	18	3	7	1	16	3	13	3
新潟薬科	28		27		29	3	21	2	5	7
同志社	5	1	2	3	7		9	2	8	3
立命館	5	2	4	5	12	2	11	7	14	7
関西	4		1		1		1	2	2	2
関西学院	1				1				3	1
その他	205	40	289	33	248	33	278	49	273	36
小計	436	117	507	85	519	83	591	138	528	122
私立合計	553		592		602		729		650	

進学指導部
大変健闘した入試結果
東大現浪3名進学
国立医学科現浪6名進学

最近の入試状況と 本校の概況

全国の入試状況
平成27年度センター試験は、前年差で国語は20点アップしましたが、数学ⅡBは15点ダウンしました。その結果、900点満点の平均は、文系が540点、理系が568点となり、ほぼ昨年並みの平均点となりました。

国公立大学入試は、2次試験出願数が47.5万人と一昨年比0.9万人減となり、志願倍率4.8倍となりました。
私立大学入試は、新課程科目を過剰に意識し、センター試験利用入試を回避する傾向がみられました。そのため一般入試の志願者が

増加しました。

本校の入試状況

本校のセンター試験の結果は、文系では568点、理系569点と大変健闘いたしました。

合格数は、前年に続きすばらしい結果となりました。現役では、国公立大学148名合格と

平成27年度 大学入試 (現役)	東京	京都	北海道	東北	名古屋	大阪	九州	東工	一橋	筑波	難関大合計	新潟医学科	早稲田	慶應
合計	2	1	3	2	1			1		4	14	3	8	2
Iコース	1	1	2					1		3	8	1	2	1
IIコース													1	
IIIコース														
IVコース	1		1	2	1					1	6	2	5	1

なりました。東京大2、京都市大1、東工大1、北海道大3、東北大2、名古屋大1、筑波大4、新大医学科3、早稲田大8、慶應大2など難関大学合格者数も、コース問わず健闘しました。また、国立医学科へ現浪合わせて6名進学しました。

生徒が明訓の指導を信じ、目的意識・志望が明確であり、最後まで諦めることなく、当たり前前の学習（予習、授業、復習）を地道に行い、入試問題に對して、どのように取り組めば合格できるのかを具体的に考え学習した結果であると考えます。

在校生は、この結果を励みとし、学習への取り組み方を学び、27年度入試にむけて勉学に励んでいます。現在、現役高校3年生は最初の関門であるセンター試験を目指し頑張っています。同窓生の皆様も暖かい目で見守って頂きたいと思っています。

体育祭

「臨機応変」を合い言葉に開催!

総合優勝は「黒連合」!

去る9月8日、今年度で7回目となる体育祭が開催されました。今年度の体育祭は、まさに「臨機応変」を体現したような行事となりました。前日の予行練習が雨のために実施できず、台風の接近

により当日のプログラムも大幅に変更となつたなかでの実施となりました。当日は生徒会を中心とする運営と中高全校生徒の協力により、大きなトラブルもなく全日程を終了することができました。

昨年度から中学・高校校同の縦割り3連合(本年度は青連合・ピンク連合・黒連合)による体育祭となりましたが、本年度は「中学生の競技を応援する高校生」「高校生の競技を応援する中学生」という様子が昨年度以上に多く見られ、これぞ中高一貫校の体育祭だという一体感がフィールドを包んでいました。

また、今年度は新たに発足した中学校生徒会が中心となって新競技を検討し、中学校

に全員参加型の「台風の目」が新設されました。昨年度から新設された高校の「背中渡りレース」と並ぶ、明訓体育祭の新たな顔となつていくことが期待されます。

恒例の明訓祭が6月13日に盛大に開催されました。

今年のテーマは「和」。各クラスがそれぞれ創意工夫した企画を考え、高校は「教室展示」・「教室演劇」の発表を行いました。

平成二七年度

明訓

祭

平成27年6月13日開催



選手宣誓



連合パフォーマンス



騎馬戦



明訓大賞 3年1組

特に高校では、昨年もさらに充実した内容が今年度にもあな新企画が実現しました。例えば、「ステージ部門」の合唱や「教室展示」の部門で

・400M H
予選敗退 鈴木 多恵
・4×400M R
予選敗退
巻口美穂・大沼桃香・
鈴木多恵・山口紗椰香
・円盤投
予選敗退 森川絵美子

◎サッカー部

《新潟県高等学校春季地区体育大会》
5/6/8 日本文理・新潟明訓
北越・鳥屋野運動公園
1回戦 シード
2回戦 対 新潟
2-1
準々決勝 対 新潟江南
0-0 P K

《新潟県高等学校総合体育大会》

5/30/6/7 長岡ニータン他
1回戦 対 新潟県央工業
13-0
2回戦 対 新潟東
2-0
3回戦 対 開志JSC
4-0
準々決勝 対 新潟産業大学附属
2-0
準決勝 対 帝京長岡
1-0
決勝 対 加茂暁星
2-0
2年ぶり6回目 優勝

《北信越高等学校総合体育大会》

6/19/21
大田市運動公園サッカー場
1回戦 対 東京都市大塩尻(長野県2位)
1-1 P K
準決勝 対 鵬学園
(石川県2位)
2-1
決勝 対 創造学園
(長野県1位)
1-0

4年ぶり2回目 優勝

《全国高校総合体育大会》

8/3 神戸ユニバー記念競技場
1回戦 対 大阪桐蔭
(大阪府第一 代表)
0-1

◎野球部

《第132回北信越地区高等学校野球新潟県大会北支部予選》

5月1日(金)
2回戦 ○14-10
村上(五十公野公園野球場)
5月3日(土)
3回戦 ○36-2
新潟向陽
(鳥屋野運動公園野球場)
5月6日(水)
4回戦 ●5-9
十日町
(三条バール金属スタジアム)
ベスト16敗退

《第97回全国高等学校野球選手権新潟大会》

7月13日(月)
2回戦 対 新潟江南
(鳥屋野運動公園野球場)
○13-0
7月18日(土)
3回戦 対 帝京長岡
(柏崎市佐藤池球場)
●4-7
ベスト32敗退

◎弓道部

《第32回県民体育大会弓道競技会》

4/25 新潟市
鳥屋野総合体育館弓道場
・個人女子 優勝
山本 滯 8射6中

《春季新潟・下越地区弓道大会》

5/1 新津地域学園弓道場
・個人男子 優勝
・個人女子 準優勝
山本 滯 8射6中
・団体男子 第3位

川上順也・剣物真成・
小山 匠・千葉磨人・
中田一基・石川 諒・
小島 遼 40射22中

《第68回新潟県高等学校総合体育大会新潟県大会》

5/30/6/1
新津地域学園弓道場
・団体女子 優勝
岡田夢奈・神田南美・
呉 万慶・山本 滯・
若槻真由

↓第60回記念全国高等学校弓道大会(近畿インターハイ)出場：初出場
↓第45回北信越高等学校弓道大会出場：3年連続4回目
・団体男子 第4位
川上順也・剣物真成・
小山 匠・千葉磨人・
小池優太郎・中田一基・
吉田良太・石川 諒・
小島 遼
↓第45回北信越高等学校弓道大会出場：3年ぶり2回目
・個人男子 第3位
石川 諒
↓第45回北信越高等学校弓道大会出場

《第45回北信越高等学校弓道大会》
6/19/21 新津地域学園弓道場
・団体女子
岡田夢奈・神田南美・
呉 万慶・山本 滯・
若槻真由
↓40射15中 予選敗退
・団体男子
川上順也・剣物真成・
小山 匠・千葉磨人・
小池優太郎・中田一基・
吉田良太・石川 諒・
小島 遼
↓40射25中 予選通過
決勝トーナメント
1回戦 新潟明訓 8 対 ⑩

滑川(富山)
↓ベスト8進出

《第60回記念全国高等学校弓道大会(近畿インターハイ)》

8/6/9 奈良吉野運動公園
総合体育館特設弓道場
・団体女子
岡田夢奈・神田南美・
呉 万慶・山本 滯・
若槻真由
↓20射9中 予選敗退

《秋季新潟・下越地区弓道大会》
9/8 新津地域学園弓道場
・個人女子 優勝
神田 南美 8射皆中
・団体女子 準優勝
神田南美・呉 万慶・
山本 滯・若槻真由
↓24射17中
・団体男子 第4位
栗原 理・小島 遼・
八幡吏久・中川博品
↓24射13中

◎バドミントン部

《平成27年度新潟県高等学校春季地区体育大会新潟地区バドミントン大会》

5/4/5
巻総合高等学校(男子)
・男子ダブルス
ベスト16
井上 奨・渡部雅也
ベスト32
神田基生・齋藤正昂
・男子シングルス
2回戦敗退
渡部雅也・井上 奨・
齋藤正昂
初回戦敗退
神田基生・堀川将太

《平成27年度新潟県高等学校春季地区体育大会新潟地区バドミントン大会》
5/4/5
巻高等学校(女子)
・女子ダブルス
ベスト32

《平成27年度新潟県高等学校春季地区体育大会新潟地区バドミントン大会》
5/4/5
巻高等学校(女子)
・女子ダブルス
ベスト32

藍木爽香・吉田萌花
2回戦敗退
清水結希・飛鳥井音葉
佐久間菜々子・那須野
清夏
初回戦敗退
昆ひより・五十嵐眸実
田原由望・佐々木瑠奈
・女子シングルス
ベスト32
清水結希・吉田萌花・
杉本詩織
2回戦敗退
飛鳥井音葉
初回戦敗退
藍木爽香

《第68回新潟県高等学校総合体育大会バドミントン競技大会》

6/4 秋葉総合体育館(男子)
男子
初回戦敗退 対 柏崎高校
0-3

《第68回新潟県高等学校総合体育大会バドミントン競技大会》
5/29 亀田総合体育館(女子)
女子
3回戦敗退

◎テニス部

《全日本ジュニアテニス選手権下越地区予選》

4/4、19
新発田市五十公野公園テニスコート
・男子シングルス
ベスト4 杉山 康太
ベスト8 田代 研
ベスト16 森田 淳平
ベスト32 小川 亮
・男子ダブルス
優勝 杉山・田代
ベスト4 小川・賀川
ベスト8 森田・伊藤
ベスト16 藤井・池内
ベスト32 杉山・田代
ベスト16 池内 春樹
決定

《下越地区高校新進テニス大会》
8/3/4 新発田
五十公野公園テニスコート
・男子ダブルス
準優勝 高澤・池内
ベスト8 小泉・荒井
・男子シングルス
ベスト8 高澤 直希
ベスト16 池内 春樹

《春季下越地区テニス大会》
4/30、5/1
新発田市五十公野公園テニスコート
・男子ダブルス
ベスト8 杉山・田代
ベスト16 小川・賀川
ベスト32 藤井・池内
・男子シングルス
ベスト8 杉山 康太
ベスト16 高澤 直希
ベスト16 田代 研
ベスト16 森田 淳平
以上、全員 県大会出場
決定

《新潟県高等学校総合体育大会》
6/5/7 南魚沼市
・男子団体戦
2回戦 vs 新発田南
3-0
3回戦 vs 三条
2-1
準々決勝 vs 新発田
0-2

・男子ダブルス
杉山・田代組
3回戦敗退
県ベスト16
・男子シングルス
杉山 康太
3回戦敗退
県ベスト32
高澤 直希
3回戦敗退
県ベスト32

《下越地区高校新進テニス大会》
8/3/4 新発田
五十公野公園テニスコート
・男子ダブルス
準優勝 高澤・池内
ベスト8 小泉・荒井
・男子シングルス
ベスト8 高澤 直希
ベスト16 池内 春樹

《下越地区高校新進テニス大会》
8/3/4 新発田
五十公野公園テニスコート
・男子ダブルス
準優勝 高澤・池内
ベスト8 小泉・荒井
・男子シングルス
ベスト8 高澤 直希
ベスト16 池内 春樹

《全国選抜高校テニス大会》 8/19、20新潟市江口テニスコート 2回戦 vs 新発田南高校 4-1 3回戦 vs 五泉高校 3-0 準決勝 vs 東京学館新潟高校 0-3 新潟・下越地区大会 第3位(県大会出場決定)		《全日本ジュニアテニス選手権大会》 下越地区予選大会 4/4、5 新潟市五十公野公園テニスコート ・女子シングルス 2回戦進出 須田 遙、田口亜美、 水野恭佳、江田諒子、 樋渡絵理奈、猪飼千智 1回戦 古山雪乃、小池こなつ、 藤田奈央、稲田菜美、 白井望美 ・女子ダブルス ベスト8 江田諒子・樋渡絵理奈 ベスト16 水野恭佳・須田 遙 田口亜美・藤田奈央 1回戦 白井望美・稲田菜美 小池こなつ・古山雪乃		《平成27年度新潟県高等学校 春季下越地区体育大会テニス競技会》 4/30、5/1 胎内市 国際交流公園テニスコート ・女子シングルス 第3位 尾崎 留唯 ベスト16 江田諒子、田口亜美 以上の者、県総体に出場 他、水野恭佳、須田 遙、 樋渡絵理奈 ベスト32 藤田奈央、橋爪ひなた 1回戦 ・女子ダブルス		ベスト8 尾崎留唯・橋爪ひなた 以上のペア、県総体に出 場 他、江田諒子・樋渡絵理奈、 水野恭佳・須田 遙 ベス ト16 古山雪乃・南 和花、猪飼 千智・古田嶋愛、田口亜 美・藤田奈央 ベスト32 白井望美・稲田菜美 1回 戦		《第68回新潟県高等学校総合体育大会》 兼 平成27年度全国高等学校体育大会 新潟県予選会テニス競技会 6/5、7 新潟市大原運動公園テニスコート ・女子団体戦 2回戦 対 柏崎総合 2-1 勝ち 3回戦 対 長岡 1-2 負け ベスト16 ・女子ダブルス 尾崎留唯・橋爪ひなた 1回戦 6-1 勝ち 2回戦 4-6 負け ベスト32 ・女子シングルス 江田諒子 2回戦敗退 田口亜美 1回戦 6-3 勝ち 2回戦 1-6 負け 尾崎留唯 2回戦 6-4 勝ち 3回戦 4-6 負け ベスト32		《平成27年度下越地区高校 新進テニス大会》 8/3、4 胎内市国際交流公園テニスコート ・女子シングルス 第1位 尾崎 留唯 ベスト16 田口 亜美 他、藤田奈央、古田嶋愛、 五十嵐裕香、南 和花、丸 山 栞 1回戦敗退		・女子ダブルス 第1位 尾崎留唯・橋爪ひなた ベスト8 田口亜美・藤田奈央 他、白井望美・稲田菜美、 田中杏奈・河村宏香、古田 嶋愛・南 和花、丸山 栞・五十嵐裕香、堀川和佳 奈・卯田寿里、諏佐実穂・ 辻本咲千夏 1回戦敗退		《第38回全国選抜高校テニス大会》 (一次選) 8/19、20 新潟市庭球場 ベスト8 ↓県大会出場 《平成27年度秋季下越地区テニス大会》 9/1、2 胎内市 国際交流公園テニスコート ・女子シングルス ベスト4 尾崎 留唯 ベスト8 田口 亜美 ベスト16 橋爪ひなた 以上の者、県大会に出場 他、南 和花 1回勝ち、 藤田奈央、丸山 栞、諏佐 実穂 初戦敗退 ・女子ダブルス ベスト4 尾崎留唯・橋爪ひなた ベスト16 田口亜美・藤田奈央ベ ア 以上の者、県大会に出場 他、白井望美・稲田菜美ベ ア、古田嶋愛・南 和花ベ ア、丸山 栞・五十嵐裕香 ベア、河村宏香・田中杏奈 ベア、諏佐実穂・堀川和佳 奈ベア、卯田寿里・辻本咲 千夏ベア 初戦敗退		《平成27年度新潟県高等学校 テニス選手権大会》 9/12、13 新潟市大原運動公園テニスコート ・女子シングルス ベスト16 尾崎 留唯		3回戦敗退 田口亜美、橋爪ひなた 2回戦敗退 古田嶋愛 ・女子ダブルス 2回戦敗退 尾崎留唯・橋爪ひなた ベア		《平成27年度第38回全国選抜 高校テニス大会》 9/19、20 新潟市大原運動公園テニスコート ・女子 1回戦 対 柏崎高校 3-2 勝ち 2回戦 対 高田高校 4-1 勝ち 準決勝 対 帝京長岡高校 1-4 負け 順位決定戦 対 新津高校 2-3 負け ↓第3位		優 勝 平成27年度北信越高等学 校体育大会 第51回北信越高等学校ハ ンドボール選手権大会 出場決定 平成27年度全国高等学校 総合体育大会 出場決定		《平成27年度北信越高等学校体育大会》 第51回北信越高等学校ハンドボ ール選手権大会 6/20 長野県千曲市戸倉体育館 ・1回戦 対 高志 (福井県) 新潟明訓 対 高志 14-31		《平成27年度全国高等学校総合 体育大会ハンドボール競技大会》 高松宮記念杯第66回全日本高等 学校ハンドボール選手権大会 8/1、2 大阪府堺市金岡公 園体育館 ・1回戦 対 明星 (東京都) 新潟明訓 対 明星 10-38		《平成27年度新潟県高等学校 春季ハンドボール大会》 4/25、26 新潟江南高等学校 ・1回戦 対 巻 新潟明訓 対 巻 30-18 準決勝 対 中越 新潟明訓 対 中越 27-10 決勝 対 柏崎 新潟明訓 対 柏崎 28-17 優 勝		《新潟県高等学校総合体育大会》 5/30 横越体育館 ・1回戦 対 中越 0-2 《全日本バレーボール選手権大会》 新潟地区予選 9/5 吉田高校 ・2回戦 対 新潟商業 0-2 敗者戦 対 分水 0-2		《新潟県高等学校新潟地区大会》 4/27 横越総合体育館 女子 ・1回戦 対 分水 1-2 《新潟県高等学校総合体育大会》 6/5 新発田農業高校 ・1回戦 対 見附 2-0 ・2回戦 対 新発田農業 0-2		《全日本バレーボール選手権大会》 新潟地区予選 9/6 吉田高校 ・1回戦 対 新潟南 0-2 《平成27年度新潟地区春季卓球大会》 5/5、6 新潟市体育館 ・男子団体 1回戦 対 新潟南 3-1 2回戦 対 新潟商業 0-3 順位決定リーグ 2勝1敗 11位 ・女子団体 1回戦 対 巻総合 0-3 順位決定リーグ 0勝2敗 11位 ・男子シングルス 1回戦敗退 宮下硬企、本間一行、 小林佑輔 2回戦敗退 山崎 恒、八木幸一郎 3回戦敗退 池田 翔、白川諒太、 土屋幸大 ベスト32 ・女子シングルス 市村 陸、小林美知郎 1回戦敗退 中山芽衣、竹村紗也香、 星野 遥、高澤かりん 2回戦敗退	
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--	--

竹舎美佳

《平成27年度新潟県高等学校
総合体育大会卓球大会》5/31
リーグ1 プラザ上越

・男子ダブルス

1回戦敗退

・白川諒太・土屋幸大

1回戦敗退

・高澤かりん・竹舎美佳

《平成27年度新潟県高等学校春季地区体育
大会》新潟地区バスケットボール大会

4/25〜27 新潟市西川総合体育館

男子
《予選トーナメント》

1回戦 vs 新潟

2回戦 vs 北越

73-51 ○

(決勝リーグ)

54-71 vs 新潟南

71-84 vs 新潟商

79-33 ○

新潟地区 第3位

《第68回新潟県高等学校総合体育大会 兼
平成27年度全国高等学校総合体育大会
新潟県予選会》兼 第54回北信越高等学
校体育大会 新潟県予選会 バスケット
ボール競技会(男子の部) 5/29〜31
小出郷体育館 6/7 小千谷市総合体
育館

1回戦 vs 六日町

71-49 ○

2回戦 vs 三条東

83-56 ○

3回戦 vs 小千谷

79-71 ○

4回戦 vs 新潟産大附属

81-91 ●

新潟県ベスト8/ウィンタ
1カップ 新潟県予選出場権
獲得

《平成27年度新潟県高等学校
春季地区体育大会》新潟地区
バスケットボール大会

女子

1回戦 vs 巻総合

79-56 ○

2回戦 vs 新潟東

47-61 ●

ベスト8

《第68回新潟県高等学校総合体育大会 兼
平成27年度全国高等学校総合体育大会
新潟県予選会》兼 第54回北信越高等学
校体育大会新潟県予選会 バスケットボ
ール競技会(女子の部)

1回戦 vs 柏崎常盤

71-49 ○

2回戦 vs 柏崎

62-57 ○

3回戦 vs 新津南

82-52 ○

4回戦 vs 三条商業

56-72 ○

ベスト16/ウィンターカッ
プ 新潟県予選出場権獲得

《第68回新潟県高等学校総合体育
大会 兼 第28回全日本高校・大
学ダンスフェスティバル(神戸)
予選会》ダンスコンクール及び発表
会 6/5、6 新潟県民会館

創作ダンスコンクール部門
最優秀賞

“Fight for Liberty”
—チャップリンの演説より—

《第28回全日本高校・大学
ダンスフェスティバル(神戸)
8/5〜8 神戸文化ホール》
創作コンクール部門
高校の部
文部科学大臣賞
“Fight for Liberty”
—チャップリンの演説より—

【文化部】

放送部

《第62回NHK杯全国高校
放送コンテスト新潟県大会》
6/17 新潟市音楽文化会館

・アナウンス部門

第1位 山田ちひろ

第2位 山田瑞歩

第4位 伊藤美優

第5位 堀拓実

奨励賞 今井優汰

芳賀 柚月

朗読部門

第1位 金澤 万莉

第2位 永松 梨奈

第6位 高橋 光

奨励賞 五十嵐梨香

・ラジオドキュメント部門

第3位

言葉の力(堀 拓実が中
心に制作)

・テレビドキュメント部門

第2位

小さな命を見つめ続けて
(山本 匠が中心に制作)

・創作テレビドラマ部門

第2位

手紙(西愛由美が中心に
制作)

《吹奏楽部

《第56回新潟県吹奏楽コンクール
8/8上越文化会館

・課題曲Ⅱ

「マーチ」春の道を歩こう

自由曲

「ミュージカル

「レ・ミゼラブル」より

金 賞・新潟県代表として
西関東吹奏楽コンクー
ルへの出場権獲得

《第21回西関東吹奏楽コンクール
9/12 所沢市民文化センター》
銅 賞

書道部

《第20回全日本高校・大学生書道展
大阪市立美術館

準備秀 須田 遥

《第14回岐阜女子大学全国書道展
9/20〜21 岐阜女子大学》

奨励賞 佐々木温子

優秀賞 須田 遥、池田

優秀賞 須田 遥、池田

華怜、参宮愛莉

《写真部

《新潟県高文連写真専門部
「第19回撮影大会・新潟大会」5/
22〜23 じよいあす新潟会館・新潟
市北区文化会館 撮影・新潟市内
参加者

県内46校 生徒527名

顧問66名 合計5935名

上位70点が入選・入賞

奨励賞(上位18点)

山木聡一郎、佐藤杏子

入選(上位40点)

田辺祐実、大関啓史、

小林 萌、漆山京佑、

名古屋美月

《全国高等学校総合文化祭滋賀大会
7/29〜31 滋賀県大津市
全国大会出場者 2名

受賞該当無し

田辺祐実 モノクロ写真

小林 萌 カラー写真

《生物部

《第39回全国高等学校総合文化祭
2015滋賀 びわこ総文 7/30
〜8/1 八日市文化芸術会館
大ホール 大津市民会館大ホール
・自然科学部門 ポスター
(パネル) 発表部門
奨励賞(全国4位から7位)
遠藤 慎 飯濱 圭

《将棋部

《第24回新潟県高等学校将棋大会
5/9 新潟高校

・男子団体 第3位

・女子団体 第1位

(全国大会出場)

《第39回全国高等学校総合文化祭将棋部門
7/28 滋賀県立文化産業会館》
予選リーグ1勝3敗で敗退

《囲碁部

《平成27年度新潟県高等学校
文化連盟春季囲碁大会
5/24 県立新潟高等学校》
・個人戦Bブロック
第2位 小宮山 蓮

《ダンス部

《第39回全国高等学校総合文化祭
7/30〜31 長浜ロイヤルホテル》
・女子個人戦
第42位 木村 桜子
2勝4敗

《個人戦Cブロック

第5位 木村 桜子

第7位 金澤 真衣

※木村は全国高等学校総合文
化祭囲碁部門女子個人戦出
場

ダンス部

全国大会で最高賞 文部科学大臣賞 受賞

ダンス部主将

3年 齋藤 真唯

私たちダンス部は、8月5日〜8日に行われた第28回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)において、作品「Fight for Liberty」—チャップリンの演説より—を上演し、最高賞である文部科学大臣賞を受賞することができました。

「君たちには力があ。人生を自由に美しく、素晴らしいものに変える力が！戦え！自由のために。」この言葉は、映画「独裁者」のラストのシーンに登場するチャップリンの演説の一部です。6分間、及ぶ彼の演説に心を動かされ、昨年の12月から創作活動を始

め、この作品と向き合っていました。戦時下の抑圧された人々に向けたチャップリンの演説を、現代を生きる私たちがどのように捉え、どのようなメッセージを込めて踊るのか、とても悩みました。そして、なぜ彼の言葉が今も私たちの心に響いたのか。何度も考えていく中で、それは自分達も見えない何かに抑圧されているからではないか、ということに気づきました。気付かぬうちに敷かれたレールの上を歩いてはいないだろう。誰かの言いなりになっ。過去に囚われては

いないだろうか……。うしろの問いかけの中、
「たとえ困難な状況にあっても、自分の意志で、人生を自由に切り拓いていくことができる。」という私達なりの答えに辿り着きました。
この作品では、日本チャップリン協会の了承を得て、映画に使われているチャップリンの肉声を使用しました。また衣装では、灰色の帽子と軍服を模した上着を用い、「知らぬ間に身につけてしまった固定概念や、それによって統制され抑圧される社会」を表現しました。それらを脱ぎ



捨て見え始める黄色は、「希望」を表しています。
この作品のテーマを観ている人に伝えるためには、ただ踊り込むだけでは不十分でした。一人一人がこの作品の全ての動きに意味を持たせ、場面の情景を思い描き、感情を持って踊る必要があったのです。そのため、たった17年しか生きていない私たちですが、自分の人生を振り返り、お互いの暗い過去や、困難な状況、その中で希望を見出した瞬間などを共有し向き合いました。そうすることで、チャップリンの

声が私たちの声となるように、あふれる想いを作品に乗せて踊ることができました。
舞台上では、部員全員が人生そのものであるこの作品を精一杯踊りきる事ができたと感じます。チャップリン家の方々から、「優勝してください」というメッセージをいただき、本当に自分たちが文部科学大臣賞を受賞するとは思ってもいませんでした。作品やチームに関わってくださった多くの方々に、このような最高の形で恩返



最高賞作品 “Fight for Liberty”
—チャップリンの演説より—

校創作コンクール部門において、全国から集結した95校の頂点に相対する「文部科学大臣賞」を受賞することができました。この全国一位という名誉ある賞をいただく、明訓に新しい歴史を刻むことができて光栄です。昭和48年に創立したダンス部は、築いてきた伝統を

し出来たことが本当に嬉しいことです。そして、その重みと責任感も感じています。全国一位としての自覚と誇りを持ち、この名誉ある賞の名に恥じぬよう、これからは謙虚さと貪欲さを忘れずに、邁進していきたいと思ひます。多くのご声援をありがとうございました。

ダンス部顧問 佐藤菜美

若井先生をはじめ、私に交替してから部員がたった2人になり、廃部の危機に陥りながら、部をつないで成長させてくれたダンス部卒業生たちやご家族の皆様、また直接お会いしたこのない明訓の同窓生、在校生の皆さん、先生方、言い尽くせないほどたくさんの方々がダンス部に関わってくださり、今があります。この結果が私たちだけのものではなく、そのような方々の喜びや誇りになったのだと思ひたいと思います。

今回の作品や今年のチームには、たしかに自信がありました。が、本来ダンスは勝ち負けではなく、狙って手にした一位でもありません。しかし、作品やチームを多くの方々に認めていただく喜びです。このような結果をいただくと、華やかな部分だけが目立ちますが、大会までの道のりは決して平坦ではありませんでした。今回の結果は、地道にやるべきことを積み重ね、問題解



歓喜の瞬間

決のために時には衝突したり、自信と不安を繰り返しながら一つ一つの結果でしかありません。そして、全国一位という結果は単純な喜びだけではなく、恐怖に近い、重く大きなものがのしかかっている感じがします。これは、私たちに与えられた新たな景色だと思ひ、地に足をつけて逃げずに向き合いたいと思っています。ダンス部を様々な形で支援してくださいます。多くの方々に御礼申し上げます。

全国大会への道

陸上競技部

インターハイに入賞して

陸上競技部 土田 佳奈



入賞した土田選手

今年、和歌山県で開催された全国高校総体に出場しました。今まで高校一、二年生と二年連続で出場しましたが、自分の走りができずに悔しい思いをしてきました。そのため、今年は高校生活ラストシーズンということもあり、賭ける思いは今まで以上に強いものでした。

大会でも各大会ごとに目標タイムを設定し、そのタイムをクリアすることので大きな自信となりました。

インターハイの初日にあった一五〇〇mでは不思議なことに思ったよりも緊張せず、リラックスすることができていたと思います。予選では闘争心を強く持ち、先頭を譲らないレース展開を心がけて走りました。しかし、予選ではありましたが実力のある選手も多く、レースのラストで抜かれてしまい、順位ではなくタイムで拾われての決勝進出となりました。そこで、決勝の舞台では入賞を目指し、とにかく冷静さを忘れないように心がけました。決勝では思い描いていた通りのレース展開となり、レース後半で順位を上げていき、第七位に入賞することができました。一年生の時にも国体で全国入賞できましたが、それとは違う格別なものでした。

大会期間の後半にあった三〇〇〇mは自分の中では少し苦手意識がありました。理由は、一五〇〇mでの疲労のある中であり、さらに猛暑の中、自分本来の

走りができるか自信がありませんでした。そのことに加えて、三〇〇〇mには駅伝強豪校の多くの選手がエントリーされていて弱気になった。そこで、とにかくポジティブに考えることを心がけ、今の力をすべて出すことを目標としました。三〇〇

〇mでもあきらめない走りできればこのコンディションの中でも自己ベストは出せるという思いで走りました。結果は気負いすぎない気持ちで良かったのか、最後まで粘り強い走りができ、第八位に入賞することができました。今後の駅伝にもつながる大きな自信をもらえた。

サッカー部

御礼！二年ぶり六回目のインターハイ

サッカー部顧問 堀口 亮介



2年ぶりのインターハイ

今年の全国高校総合体育大会サッカー大会

は兵庫県神戸市での開催となりました。新潟県からは遠方であり、移動手段や気候の違い等様々な不安を抱えた中で、の戦いとなりました。ところが、同窓会の皆様方による物心両面に渡る支援もあって、無事に大会を終えることができた。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

新潟県予選では地区予選を勝ち上がり、御礼申し上げます。新潟県予選では地区予選を勝ち上がり、御礼申し上げます。新潟県予選では地区予選を勝ち上がり、御礼申し上げます。

たレースとなりました。今回、インターハイで二種目入賞できたことは、日頃からご指導下さった先生をはじめ、家族やチームの仲間、今まで支えて下さり、応援して下さいた多くの方々のおかげだと思っています。ありがとうございます。

組に入ることを祈りました。予想通り毎試合苦戦を強いられました。が、一昨年全国総体に出場したメンバーが三年生となり、彼らが要所で力を発揮しなるとか優勝することができ、二年ぶりに全国の舞台で活躍するチャンスを得ることができました。

県予選終了後も、北信越サッカー選手権において、各試合でやはり三年生の活躍により、四年ぶりに優勝旗を新潟県に持ち帰ることもできました。

6月27日、全国総体の組み合わせ抽選会が行われ、初戦の会場が大学サッカーの聖地でもあるユニバー記念競技場となりました。サッカー選手であれば誰もが憧れるピッチです。そこで初戦を戦えることを本当に幸せに感じ

ました。初戦の相手は大阪府のチームであり、なおかつ近畿大会（こちらで言うところの北信越大会）優勝の強豪、大阪桐蔭高校でした。今大会の初戦注目カードとして、多くの方が観戦に訪れておりました。選手達は気候との戦い、緊張との戦い、様々な不安を胸に試合に臨みましたが、新潟県から夜通しバスで移動し神戸まで駆け付けてくれた部員たち、保護者の皆さまの応援により、終始落ち着いた状態で試合をすることができました。不運な失点もありましたが、日頃積み重ねた成果を存分に発揮できたと思います。終了のホイッスルまで、確かな手応えを感じながら試合を進められたのではないのでしょうか。再三相手ゴールに迫りましたが、こじ開けることができず残念ながら0対1で初戦敗退という結果に終わりました。しかし、このチームならば本当に全国で十分に戦えると感じることができた大会となりました。

10月24日から高校サッカーの集大成ともいえる全国高校サッカー選手権新潟県大会が始



2年連続のインターハイ

ハンドボール部は、新潟県総体を優勝し、二年連続、二回目のインターハイに出場することができました。私たちはハンドボール部は、勉強と部活の両立を目指し、明訓高校本来の建学の精神を大切にしており、楽しく、明るく活動しております。新潟県総体の予選では、決勝で柏崎工業高校と対戦しました。28対18で勝ち、二年連続二回目のインターハイの切符をつかみました。柏崎工業高校は三年前の決勝で負けたチームでした。選手、ベンチにはいれなかった選手達と共に、苦し

ハンドボール部 二回目のインターハイ出場

ハンドボール部顧問 鈴木純一

まります。県のチャンピオンとして構えるのでは無く、あくまでチャレンジする気持ちで忘れずに予選に挑みたいと思っております。再び全国の舞台で戦うために、夏の悔しさを取り返すために。そして勝つことだけを目標

とするのではなく、明訓生としての誇りと自覚を常にもたせられるよう指導して参ります。同窓会の方々におかれましては、これまでと変わらぬ温かいご声援とご支援をお願いいたします。

い練習を乗り越えた結果です。インターハイ初戦では、東京代表の強豪校の明星高校と対戦しました。38対8で負けました。選手は勿論、応援にきてくださった保護者、選手も最後まで戦いました。自分の力を発揮できず、我々明訓のハンドボールをさせてもらえず、悔しい敗戦でした。三年間の部活動を精一杯やり、たくさんの方の支援があつて、大阪の地で試合ができることができました。喜びと感謝、そして悔しい経験を次のステージへ生かすつもりです。

今回、インターハイ出場したことは、明訓ハンドボール部にとって、大きな経験と糧になりました。私たちは、新しいオフエンス、デフエンス戦術を取り入れながら、試行錯誤して参りました。全国で通用したことを生かし、新チームでも一層精進して行きたいと思えます。これからも努力をし、三年連続インターハイに出場目指し、全国ベスト16を目標に掲げております。ご指導、ご鞭撻をよろしく願います。

今回のインターハイ

現在剣道部は三年生を含め男子十七名、女子五名の合計二十二名で活動をしています。6月に行われた新潟県高等学校体育大会では、男子団体は、準決勝で敗退し三位という結果でした。三月に愛知県で開催された全国選抜大会に出場し、春夏で全国大会出場を目標としていただけに非常に悔しい結果に終わりました。女子団体は、接戦を勝ち抜き、決勝戦まで勝ち進みましたが、あと一歩力及ばず敗れ二位という結果でした。男女ともに団体戦では悔し涙を流した結果となりました。

しかし、個人戦男子の部で二年生の岡田翔が準優勝し、インターハイの出場権を獲得、また、同じく三年生の田

中和真がベスト8に入り、北信越大会の出場権を獲得する活躍を見せてくれました。剣道部としては六年連続でインターハイへの出場となります。

インターハイ剣道競技は八月四日から和歌山市ビッグホールで開催されました。岡田選手は一回戦、秋田県代表の選手と対戦し、四分の時間内では決着がつかず延長戦となりました。お互いに一歩も譲らず試合が進みましたが、一瞬の隙をついて岡田選手が得意の面を奪い勝利しました。続く二回戦は、福岡県代表の選手と対戦しました。時間内に二本を奪われ敗退しました。二年生ということもありですが力の差を見せつけられ、また全

では大阪で行われましてのたくさんの明訓ハンドボール同窓生が応援に来ていただきました。

した。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

剣道部 君が創る近畿総体

2015に出場して

剣道部顧問 玉虫一憲

国のレベルの高さを痛感させられました。結果だけをみると決して満足のいくものとは言えませんが、応援にかけつけてくれた生徒・保護者も大きな声で声援をおくり、明訓高校剣道部として一丸となつて最後まで全国の舞台で戦うことができたことや、試合で自分の持てる力を全て発揮してやり終えた満足した笑顔を見ることができました。今回、イン

ターハイに出場できたことを自信とし、新たなスタートとしてこれからより一層精進していきたいと思います。最後になりましたが、今回のインターハイに出場に際しまして応援をしてくださった多くの方々にこの場を借りて御礼を申し上げます。これからも、日々努力を重ねていきますので、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

弓道部

第60回記念全国高等学校弓道大会 (2015君が創る近畿総体)に出場して

弓道部顧問 長井大輔

6月に行われた新潟県総体におきまして、団体女子が初優勝し、創部以来初めてとなる、団体でのインターハイ出場権を獲得することが出来ました。一昨年の県総体は3位、昨年は2位という結果を踏まえて大会に臨んだ今年の団体女子は、3年生1名・2年生4名の合計5名しかいないという厳しい状況下

で、本当によく健闘し、初の栄冠を勝ち取りました。そうして迎えた8月初旬に、奈良県吉野町で第60回記念全国高等学校弓道大会(近畿インターハイ)が開催されました。会場には、学校長はじめ保護者の方々、そして全国各地から弓道部OB諸君に、遠路はるばる応援に駆けつけていただき

ました。しかし、結果は20射9中で、予選通過ラインまで「あと1本」足りずに敗退してしまいました。結果はとても残念であり、技術の未熟さや、気持ちの弱さなど、多くの反省材料が見つかった一方で、最高の舞台でドキドキ、ワクワクしながら弓を引く楽しさを経験できたこと、そして、来年もまたあの舞台に立ちたいという目標を見つけることが出来ました。また、会場中に響いた「よし!」という明訓応援団の大きな矢声はとても、力強く、そうした応援をいただける選手・チームへと成



初めてのインターハイ

長したこと、そして自分たちを応援して下さる方々が太勢いることを実感できたのは、選手・監督にとつて、かけがえない収穫であると感じています。現在は1・2年生による新チームが始動し、今冬の全国選抜を目指して練習に取り組んでいます。インターハイで学び得た成果と

課題に基づき、こ一番の勝負で「あと1本」をしつかり決められるよう精進していきたいと思ひます。最後になりましたが、この度のインターハイに出場に際しまして応援いただきました多くの方々に、この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

放送部

2つの全国大会に出場

放送部顧問 梅田愛子

今年もおかげさまで2つの全国大会に出場することができました。1つは7月22日から3日間開催されたNHK全国高校放送コンテストで、平成6年から22年連続で出場しています。今年は、アナウンス部門・朗読部門・テレビドラマ部門・テレビドキュメント部門・ラジオドキュメント部門で10名(3年生7名、2年生3名)の生徒が戦ってきました。もう一つは7月31日から2日間開催された全国高等学校総合文

化祭で、こちらは平成9年から19年連続で出場しています。アナウンス部門・朗読部門・オーディオピクチャー部門・ビデオメッセージ部門で9名(3年生7名、2年生2名)の生徒が戦ってきました。結果は、今年も初戦敗退。手渡された審査通過者名簿のどこにも明訓高校の名前がないとわかった瞬間の、生徒たちの何とも言えない複雑な空気感には、どこか息苦しく、たまらない切なさがありました。

した。練習通りにやれなかった自分の不甲斐なさ、あの日あるとき惜しんだたった一握りの努力の重さ、あるいは今やれるすべての力を尽くしても報われず全国の壁の高さを思い知る沈黙。そういうものが渦巻き、涙となつて感情を溢れさせる部員もいれば、泣くに泣けぬ悔しい表情がにじみ出る部員もいました。大会最終日には、決勝に進出した者だけが上がる大きなステージを客席から見ながら、「遠い…」と呟いた部員の言葉が耳から離れないでいます。しかし、今年の明訓放送部はそれで終わりませんでした。大会直後から、今回の反省を大いに生かそうと部員たちが自発的にそして具体的に動き出したのです。これで引退を迎える3年生部員も、後輩たちに何か残そうと必死で考え、基礎練習のプランを練り直したり、先輩後輩の関わりを見直して縦のつながりを強化すべく思案してくれたりしています。放送のコンクールという、個人の資質や努力によるところが大きいと見なされがちですし、そのような面

があることも否定できません。しかし、部員たちが自分のためだけでなく後輩たちやこれから放送部のためにこうして頑張っている姿は、「チーム」として



全国高等学校総合文化祭滋賀大会
栗東芸術文化会館前にて集合写真

ての明訓高校放送部が動き出したことを示す何よりの収穫となりました。今年の大会では結果こそ残せませんでした。が、部員たちの成長と強い決意に、顧問一同確かな手応えを感じています。来年は、大会会場に彼らの笑顔とガッツポーズが溢れることを信じて、また1年間作品作りに励んでいきます。最後に、全国大会出場に際し多くの方々から応援していただきましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

将棋部 滋賀総文祭に参加して

将棋部顧問 田中 徹

(スイス式)で4試合行われ

一回戦
新潟明訓 0-3

鹿島(茨城)

滋賀県米原市において(7/28、29)開催された第39回全国高等学校総合文化祭将棋部門女子団体部門に参加しました。初日は予選リーグ

二回戦
新潟明訓 0-3
藤枝明誠(静岡)
三回戦
新潟明訓 2-1
星雲(長崎)
四回戦
新潟明訓 1-2
白山(神奈川)

ました。が、それぞれ一勝ずつしかあげられず全国の壁を感じました。今後の人生の中で、この経験を活かしてもう残った部員で、秋の新人戦、そして来春の県大会出場を目標にしていきますので、これからも応援よろしくお願いいたします。

囲碁部 第39回全国文祭に参加して

囲碁部顧問 井上伸也

囲碁部は2年9組の木村桜子が全国総文祭への出場選手として推薦され、女子個人戦に出場しました。木村は

高校入学後から囲碁を始めた初心者でありますが、全国大会に出場するまでに成長しました。滋賀県までの旅は



文芸部 滋賀総文祭に参加して

文芸部顧問 田島利也

二〇一四年度の新潟県高等学校文芸コンクールで、本校文芸部の

高橋里奈の詩「十七歳の冬」が詩部門の奨励賞を受賞し、全国高等

とても長いものでありましたが、特に体調を崩すこともなく全日程を終了したことをまず嬉しく思っております。大会は、スイス方式で行われました。すなわち、対戦相手がコンピュータで自動的に決められ全員が6局ずつ打ち、6局終えた段階で規定によって順位を決定する方式です。全国のトップが集まる大会で苦戦を強いられましたが、二勝四敗という成績でありまし

た。勝ちを収めることができたこと、初の全国大会出場で物怖じせず最後まで打ち切ったこと、そして何より全国の舞台を体験できたことが大きな収穫となりました。木村はまだ2年生なのでこれからも努力を続けさせさらなる成長を目標としております。また囲碁部全体の発展にも力を尽くす所存ですので、これからさまざまな面でのご支援をお願いする次第でございます。



会場前での高橋受賞者

学校総合文化祭(総文祭)に新潟県代表として推薦され、この夏、全国総文祭に参加して来ました。初めて参加した昨年に続き、二年連続の快挙です。

本人の弁では、この詩は「今しか書けないもの」をコンセプトに、電車の中や授業中、塾へ向かうまでの道や自室での予習時間など、何気ない日常の中でぼつりぼつりと浮かぶ言葉や疑問を、今持っている精一杯の表現力でまとめたもの、ということ。

今年度の開催地は滋賀県で、文芸部門は高島市が会場でした。七月二七日から八月一日までの開催期間中、さまざまなイベントに参加して、全国から集まった文芸部の生徒らと交流・親睦を深めることができました。また、分科会では詩の実作と研究をされている大学の先生から直接指導を受ける機会を得ました。講演会では、歌壇の第一線で活躍されているプロの歌人から、人生上の経験をどのようにな作品に昇華させていったかなどの、実体験に基づく貴重なお話を拝聴することができました。

長いようで短い六日間でしたが、生徒も私も、得たものは少なくありませんでした。このような有意義な経験を持つことができたのも、多くの方々からの様々な応援があったからこそでありま

す。この場をお借りして御礼申し上げます。文芸部は、今後も創作活動に真摯に取り組み、文武両道を標榜する本校の伝統に少しでも貢献することができれば、と考えております。

生物部

二〇一五滋賀びわこ総文 受賞報告

生物部顧問 間島啓太

今年度は幸いにして全国で四十八位に相当する「奨励賞」を頂くことができたので、研究の内容も紹介しつつ、大会報告を致します。今回の研究は、本校野

球場裏の水路で生徒が採集したエビに対する疑問から出発したものです。新潟県にはヌマエビとヌカエビという二種類が分布しているのですが、採集されたエビは、そのいずれでもない新潟県未記録の種類でした。そこで、この謎のエビの分布と正体を調べるといいう目的で研究をスタートし、多くの方々の協力を得ながら二年間データを蓄積していきまし

た。調査の結果、この謎のエビはカワリヌマエビ属の種類であり、信濃川・能代川を中心として、新

潟県に広く侵入・定着しているということが明らかに。全国大会にて発表を行うことができました。全国大会に参加した時点では、このエビの正体については未解明だったのですが、全国大会時に採集した琵琶湖や京都のサンプルと、ミトコンドリアDNAの塩基配列の比較をおこなったことで、この謎のエビが、西日本に分布するミナミヌマエビに極めて近いDNAを持つているということが明らかになりました。授賞式では、「受賞作品の中でも特に研究に対する意欲や情熱が高く、よくまとまった模範的な研究である。」と、審査員の方からコメント付きで評価して頂くこともでき、今後の活動への励みとなりました。中心となつて研究を進めてきた二年生部員の遠藤慎・飯濱圭の二人が頑張ってくれたのはもちろんですが、協力して頂いたOBや保護者・関係の皆様のお力添えがあったからこそ、このような受賞に結びつくことができました。心より感謝申し上げます。

写真部

滋賀びわ湖総文に参加して

写真部顧問 森本康裕

写真部は現在十八名で活動しています。

今年度は全国大会に二年生の女子が二名作品の出品者として参加しました。また、同伴者として三名の部員と顧問の六名で三泊四日の日程を過ごしました。

残念ながら、受賞することはできませんでしたが、全国各地から出品された作品を見て、その構図の大胆さや撮影者の意図に大きな衝撃や感動を抱き、撮影意欲もより高まりました。現地では、高校生どうしの交流会で大いに盛り上がり、また撮影会では比叡山延暦寺を訪れるなど、貴重な体験をすることができました。地元で活躍さ

れている写真家から「里山地域の大切さ」についての講演を聞き、環境保全に対する問題意識も深まりました。

また、宿泊先の京都市では、移動時間や夕食後の時間も有効に使い、清水寺や八坂神社、伏見稲荷などでも大いに写真撮影に励みました。

今回の大会参加者は、来年度の全国大会への出場を目指し、後輩たちの指導にも熱が入り、毎日の活動を楽しみながら活性化しているところです。

写真部の活動場所は、管理棟四階書道教室の隣にある暗室ですが、廊下脇の壁を利用

し、各部員のお気に入りの写真を入れます。是非一度機会があればご覧ください。



生物部の面々



写真部の面々

終身会費納入者御芳名

(敬称略)

平成二十七年八月三十一日現在

平成27年卒
全日制66回

終身会費納入者御芳名 (敬称略)																							
平成二十七年八月三十一日現在																							
平成27年卒 全日制66回																							
1組(34名)																							
石川太氣																							
山田直也																							
矢田有莉																							
峯田遼太郎																							
水口康平																							
保苺恭介																							
武藤奎太																							
2組(31名)																							
秋山皓紀																							
荒井拓途																							
安樂城瑛海																							
安中瑛美																							
安上貴裕																							
井上真侑																							
岩田真佑																							
小原由莉子																							
小柳元樹																							
片桐美乃里																							
金子拓世																							
釜田純																							
川崎裕司																							
木佐貫仁美																							
黒井いづみ																							
齋藤翔太																							
齋藤千華子																							
権田優介																							
小島大雅																							
古田孝平																							
桑野圭紀																							
菊池真理																							
川口理巧																							
金井厚司																							
小熊尚																							
石崎詩織																							
阿部太朗																							
青木大地																							
青木大地																							
3組(34名)																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木大地																							
青木																							

同窓会ホームページと交流掲示板

同窓会ではホームページを開設しています。同窓会総会のお知らせなどはホームページでお知らせ致します。ぜひ一度、同窓会ホームページをご覧ください。

また、ホームページ内に「交流掲示板」を開設しましたので、このサイトは明訓同窓生の部活、OB、OGの活動情報や同期会情報など自由な情報交換の場としてご利用下さい。

<http://niigata-meikun-dousoukai.com/index.html>

10組
(40名)
渡邊 桃子
渡邊 真優
吉村 奈々
横田 万由子
柳川 由子

川内 弘志
川合 真由
萩野 建
大森 京介
井上 茉柚
井上 祐也
阿部 祐也

佐藤 友希恵
佐藤 野々花
近藤 太一
小林 さくら
小鍛治 直美
北村 菜巴
神田 菜々

藤間 千穂
田村 武裕
鈴木 沙衣
鈴木 夢乃
鈴木 悠生
鈴木 紘奈子
鈴木 麗亮
柴澤 拓亮

柳本 聖也
松田 夏菜子
松井 芙玲亜
松本 望香
本間 大河
福島 誠也
馬場 里佐子
野田 海生

渡邊 春瞳
渡邊 貴花
渡邊 宏
鷺塚 秋葉
若木 怜子
吉田 優太
山田 泰聖
山崎 芽衣

平成二十六年 度 会費納入状況

◎入会金

全日制66回生 389名

三八九、〇〇〇円

◎終身会費

全日制66回生 389名

一、九四五、〇〇〇円

◎合計

二、三三四、〇〇〇円

会務報告

一 会議

(一) 総会

平成26・11・1(土) 16:00

於 ANAクラウンプラザ

・アトラクション 17:00

新潟医療福祉大学 野球部監督

・佐藤 和也氏 講演

・懇親会 17:40

(二) 常任委員会

平成27・7・8(水) 18:30

於 ANAクラウンプラザ

・平成27年度 総会開催について

・協賛

平成27・9・17(木) 18:30

於 ホテルオークラ新潟

・平成27年度 総会開催について

・協賛

・役員改選について協議

(三) 役員会

平成27・2・19(木) 17:30

於 ホテル イタリア軒

・平成27年度 総会開催について

・同窓会歓迎会並びに卒業式について

・新年懇談会(学校管理者及び同窓会担当教職員の方々を招いて)

平成27・6・10(水) 18:30

於 じよいあす 新潟会館

・平成27年度総会開催について

・平成26年度 第1回常任委員会開催について

平成27・9・3(木) 18:30

於 じよいあす 新潟会館

・第2回常任委員会並びに総会開催について

二 その他

平成26・10・4(土) 12:30

於 太閤園

・関西新潟明訓会総会・懇親会が開催される

・本部より大倉副会長、首都圏新潟明訓会より秋葉会長が出席、学校より竹之内副校長の出席をいただく

平成26・10・25(土) 11:00

於 ロイヤルパークホテル

・首都圏新潟明訓会総会・懇親会開催される

・本部より高橋・渡邊両副会長、関西新潟明訓会より本間副会長が出席、学校より旭教頭の出席をいただく